

エプソンと築く確かな連携

エプソン情報科学専門学校は、1989年にセイコーエプソン株式会社によって開校された専門学校です。実務に直結する確かな技術を身につけ、幅広いフィールドで活躍できる人材を育成しています。セイコーエプソンの現役社員を講師として招き、最前線で培われた最新の技術や知見を学ぶことができます。さらに、優先的にセイコーエプソンへの入社を目指す「特進クラス」を設け、高い専門性の習得を支援します。

セイコーエプソンでどんな会社？

本社	長野県諏訪市大和三丁目3番5号(本校の隣)
創立	1942年5月
社長	吉田潤吉
売上収益	1兆3,629億円(2024年通期)
従業員数	75,352人(2025年3月31日現在)
エプソングループ会社数	89社 国内:21社 海外:68社(2025年3月31日現在)



エプソン
ホームページ



エプソン特進クラス

本校の母体であるセイコーエプソンへの就職を目指すクラスです。特進クラスに所属し、一定の成果基準を満たすことで、セイコーエプソンに推薦で正社員として入社できます。通常授業に加え、補習や課題に取り組みながら、専門性と一般教養を強化していきます。



位置づけ

セイコーエプソンへの就職を目指す学生の中から、学力および人物評価が一定の水準を満たした者を選抜し、特進クラス(1学年最大20名、学科不問)として編成します。卒業後は、専門学校新卒者枠での入社が可能で、入学時におおむね20歳以下の方が対象です。



選抜方法

入学後の基礎学力テスト(国語・数学・英語)の成績と面接で選抜します。在学中は学習成果と人物評価で在留の可否を判定。成績や評価に応じて、特進クラスへの昇格、降格を検討します。セイコーエプソンへの入社に向けて、努力し続ける意思が絶対条件です。



学習の流れ

各学科で行われる通常の授業に加えて、2年次になってからはセイコーエプソンの社員研修と同じ内容の実践的な研修を受講することになります。さらに、セイコーエプソン社内で実施されるものづくり研修にも参加し、現場水準の技術や考え方を体得します。

セイコーエプソンへ入社できるのは、特進クラスの学生だけではありません。自由応募も可能で、本校からは毎年、在籍する学生の約10%~25%がセイコーエプソンやグループ会社に就職しています。セイコーエプソンが地域の優秀な学生の受け皿となっていることに加え、本校で培う専門性と実践力が就職に直結していることも、その大きな理由です。

(入社実績:2026年3月卒業生...10.2%、2025年3月卒業生...11.3%)